

令和元年度 事業報告

今期も5月末をもちまして、無事21期目の決算を迎えることができました。皆様のお力添えのおかげと、深く感謝しております。

BGMの各事業（事務・移送・うんぱっぱ・病院ボランティア）におきましては、相変わらず人材不足で苦慮しております。

そんな中から一つ明るいご報告としまして、予てからBGMがサポートさせていただいておりました地域型の移送サービス事業「成仁お出かけセーフティネット」様が、9月に福祉有償運送事業を立ち上げられ、令和2年1月より本格的に始動されています。徐々に利用希望者も増え、順調な滑り出しを見せておられるようです。この事業が各地域に展開され、福祉サービスの充実が図られることを期待し、サポートに取り組みたいと考えております。

令和元年度後半は、新型コロナウイルス感染症の流行が、社会・経済に甚大な影響を与えました。全国に緊急事態宣言が発令されたことによりBGMも多大な影響を受けました。移送利用者様の外出の自粛、キャンセルが相次ぎ、学校の臨時休校により、うんぱっぱの利用もなくなりました。このため、経済産業省の「持続化給付金」の支給対象の事業所となり、申請の手続きを行いました。

BGMでは職員や移送運転会員様には、マスク・アルコール除菌シート等を支給し、事業所内はアルコール消毒や換気に気を配り、徹底した感染予防に努めました。新型コロナウイルスの終息を心から願うばかりです。